

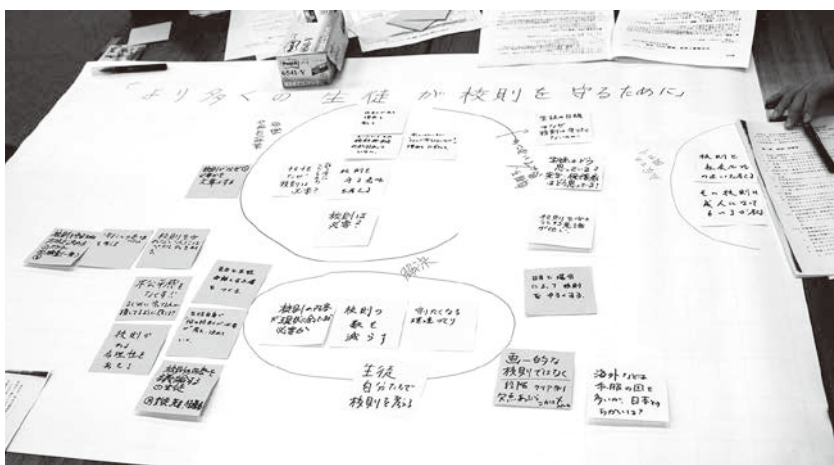


令和6年度「高校生熟議2024」開催



令和6年10月28日(月) 田布施農工高校において開催された高校生熟議の様子について紹介します。6〜7名からなる全6グループ(グループ構成例…全学年の各クラスの「3あい(アイキュービック)委員」の生徒2名、

学校運営協議会委員等2名、PTA1名、教員2名)に分かれ、「より多くの人が校則を守るために」というテーマで、各グループの企画作成に向けて熟議が行われました。総合司会者(生徒代表)による全体進行、及び各班の



議論を促進させる役割のファシリテーター(あらかじめ2回の研修に参加した生徒)の進行により、参加者全員が意見を出し合いました。

前半(第1ラウンド)「約25分」では、校則の現状や課題について意見を出し合い、後半(第2ラウンド)「約25分」では、課題等の解決ための具体的なアイデアを出し合いました。そして最後、各グループの発表(各2〜3分)が行われ、「校則のない週間を作ってみて、より良い行動について考える」「鏡を設置し、お互いの良いところを褒め合ったり、認め合ったりする」「社会に出る準備という視点で、必要な校則や不要な校則について考える」等の提案や提案理由の説明がありました。

高校生目線や保護者・地域目線、教員目線で、参加者がそれぞれの思いを自由に述べ、共有し合いながら、現在の校則の課題に気づいたり、改善案を提案したりすることで実りの多い熟議となりました。後日、各グループが模造紙に作成した熟議のフロー図を生徒昇降口に掲示し、全校生徒・教職員で共有しました。

高P連の後援による「高校生熟議」は田布施農工高校では今回が初めての取組です。高校生熟議は、山口県や地元地域、各学校における様々な課題について高校生の視点で主体的に考えることを通して、生徒たちのコミュニケーション能力を育み、主体的思考力や社会参画意識を高めるといふことを

目的の一つとしている取組です。今後、さらに多くの学校において熟議が開催されますようご検討をお願いいたします。なお、熟議に関するお問い合わせは、高P連事務局までお願いします。

